

◆ DX宣言書に基づく経営ビジョンおよび実行計画

有限会社金海商店
2025年7月

1. DX宣言書に基づく経営者メッセージおよび経営ビジョン

➤ 経営者メッセージ

当社は、「企業の継続的な繁栄に向け、社員の幸福と地域社会への貢献を目指す」という経営理念のもと、安全で迅速なサービスの提供を心がけてまいりました。

現在、当社を取り巻く環境は急速に変化しており、この変化に柔軟かつ機動的に対応しなければ、当社が掲げる経営理念は実現できません。

労働人口の減少や熟練技術者の高齢化、物価上昇といった構造的な課題に対応するため、データとデジタル技術を軸に、業務プロセス・人材・企業文化の変革に取り組みます。これにより、サービス品質の維持・向上と、働きやすい職場環境の整備による従業員満足度の向上を、同時に実現してまいります。

DX化の先にある当社の姿が、お客さまにも従業員にも、これまで以上に価値あるものとなるよう、全社一丸となって取り組んでまいります。

代表取締役 新井 善和

➤ 経営ビジョンおよびその達成に向けたビジネスモデル

- デジタル教育やデジタル技術の活用を通じて、全社員が働きやすく、やりがいを感じられる職場環境をつくります
- 廃棄物処理プロセスの見える化により、関係者がリアルタイムに必要なデータを把握でき、透明性および信頼性の高い廃棄物処理体制の構築を目指します

1. DX戦略・施策をベースとした実行計画①

➤ フェーズ1(現在～2026年3月)

戦略 :「DX推進に向けた計画策定・体制整備と社内業務基盤の構築」
施策

- 現状の業務や課題を整理し、具体的な実行計画を策定します
- 実行計画を推進するため、各部門でDX推進責任者を任命し、推進体制を整備します
- ヒト・モノ・情報を一元管理し、必要な情報をリアルタイムに共有できる業務基盤を構築することで、情報共有の遅延や入力ミス、重複作業等を改善します

➤ 実行計画

- ① DX宣言書の戦略・施策を基に、具体的な実行計画を策定し、進捗状況を当社ホームページで開示します
- ② 本実行計画を全社的に推進するため、各部門でDX推進責任者を任命し、デジタルスキル向上に資する研修を実施します
- ③ 社内グループウェア・CRM(顧客管理システム)を導入することで、スケジュール・車両点検管理・顧客管理などヒト・モノ・情報を一元管理し、必要な情報をリアルタイムに共有できる仕組みを整備します

➤ 定性・定量目標(効果)

- | | |
|--------------------|---------------------|
| ■ DX推進責任者を任命 | ⇒ 任命完了 |
| ■ 実行計画を策定 | ⇒ 策定完了、年1回以上の進捗状況開示 |
| ■ 社内グループウェア・CRMの導入 | ⇒ 運用開始 |
| ■ 顧客情報のデジタル化 | ⇒ 登録率100% |
| ■ 車両点検のデジタル化 | ⇒ 登録率100% |

2. DX戦略・施策をベースとした実行計画②

➤ フェーズ2(2026年4月～2027年3月)

戦略 :「アナログ業務や紙管理の見直しによる業務効率化」

施策 ■ 取引先間での契約・請求・報告等をオンラインで完結し、契約書・請求書等の各種帳票を電子化・クラウド保管することで、ペーパーレス化と業務効率化を推進します

➤ 実行計画

- ① 電子帳簿保存法に対応したクラウド型文書管理システムを導入し、電子契約の対応整備も検討します
- ② 紙管理および手作業によるデータ入力や電話・FAXによる連絡など、取引先間でのアナログ業務をデジタル化することで、ペーパーレス化と業務効率化を実現します
- ③ 情報セキュリティ対策として、「情報セキュリティ基本方針」を策定し、社内周知のうえ、当社ホームページで公開します(セキュリティ監査も実施)
- ④ 併せて、独立行政法人情報処理推進機構(IPA)が管轄する「SECURITY ACTION」にも取り組みます
- ⑤ 経済産業省が管轄する「DX認定制度」に申請します

➤ 定性・定量目標(効果)

- | | |
|--------------------------|------------------|
| ■ 契約書・請求書等の各種帳票の電子化率 | ⇒ 80%以上 |
| ■ 顧客へのお知らせの自動化 | ⇒ メールの自動配信率50%以上 |
| ■ 「情報セキュリティ基本方針」の策定 | ⇒ 策定完了 |
| ■ 「SECURITY ACTION」の取組み | ⇒ 「★★二つ星」を宣言 |
| ■ 全社員を対象とした情報セキュリティ教育の実施 | ⇒ 年1回以上の研修実施 |
| ■ 「DX認定制度」の申請 | ⇒ 認定取得 |

3. DX戦略・施策をベースとした実行計画③

➤ フェーズ3(2027年4月～2028年3月)

戦略 : 「廃棄物処理プロセスの可視化とデジタル化」

施策 ■ 廃棄物の種類・量・排出元・処理状況等の情報管理をデジタル化するとともに、廃棄物処理プロセスをシンプルに見直すことで、関係者が必要な情報を適切かつリアルタイムに把握できる仕組みを構築します

➤ 実行計画

- ① 廃棄物処理プロセス管理システムやCRM等を活用し、廃棄物の種類・量・排出元・処理状況等の情報をデジタル化します
- ② 上記の取組みを踏まえて、取引先等の関係者と協力し、電子マニフェストの導入も検討します

➤ 定性・定量目標(効果)

- | | |
|------------------|---------------------------|
| ■ 紙の使用量 | ⇒ 2024年度比 50%削減(～2028年3月) |
| ■ 事務作業時間 | ⇒ 2024年度比 30%短縮(～2028年3月) |
| ■ 廃棄物処理プロセスの情報開示 | ⇒ 実行計画の策定(～2028年3月) |